



鹿大生のための

図書館・学術情報 活用ハンドブック



学籍番号

氏名



鹿児島大学附属図書館へようこそ

各キャンパスの図書館アクセスマップ

郡元キャンパス



法文学部、教育学部、理学部、工学部、農学部および共同獣医学部をはじめ、全部局がサービス対象です。
 全分野にわたる総合的な図書や学術雑誌等を収集・提供しています。

■ 問合せ先 ■

Tel 099-285-7440

joho@lib.kagoshima-u.ac.jp



桜ヶ丘キャンパス



主に、医学部、歯学部がサービス対象です。

医学、歯学、看護学関係の図書や学術雑誌等を収集・提供しています。

■ 問合せ先 ■

Tel 099-275-5205

sakura@lib.kagoshima-u.ac.jp



各キャンパスに図書館が設置されており、全ての図書館を利用できます。利用方法の詳細は、各館の利用案内リーフレットや図書館HPをご覧ください。

※中央図書館・桜ヶ丘分館は入退館ゲート通過時に学生証が必要です。学生証を忘れた時は、カウンター職員へお声掛けください。

下荒田キャンパス

水産学部分館



主に、水産学部がサービス対象です。水産学関係の図書や学術雑誌等を収集・提供しています。

■問合せ先■

Tel 099-286-4051

suisan@lib.kagoshima-u.ac.jp



大 学で学ぶということは、自主的な学習が基本となります。授業の中で、レポートや論文作成の際に、学術的な情報や資料を調査・収集する必要があります。大学図書館では、学習に必要な資料を収集・所蔵して、みなさまが資料や情報を効率的に探すことができるようお手伝いしており、そのための様々なツールをご用意しています。

このハンドブックを手元に置き、有益な情報を的確かつ迅速に入手する入門書として、図書館を情報活用の拠点として大いに活用してください。



Contents

<u>図書館アクセスマップ</u>	2
<u>図書館のサービス概要</u>	4
<u>1. 利用やサービスについて</u>	
1.1. 学習や憩いのスペース	5
1.2. パソコン等の機器	6
1.3. 学内ネットワークの利用	7
1.4. サポートサービス	8
My Libraryの活用	
1.5. サポートサービス	10
各種ガイダンスほか	
<u>2. 情報活用について</u>	
2.1. 情報活用の流れ	11
レポート・論文を書く	
2.2. 情報の種類、ツールの選択	13
2.3. 情報の分析と評価	14
<u>3. 情報を探す (ALL)</u>	
3.1. まなぶたSearch(全種類)	15
まとめて情報を探す	
3.2. ブックマCatalog	19
学内の所蔵を探す	
3.3. 書架をブラウジングで探す	22
3.4. 学外の蔵書を探す	23
<u>4. 情報を探す (論文等)</u>	
4.1. 論文活用の流れ	24
4.2. 日本語の論文を探す	25
4.3. 外国語の論文を探す	27
4.4. 分野に特化して論文を探す	28
4.5. 鹿大Full Text Navigation	29
<u>5. 情報を探す (その他)</u>	
5.1. 電子ジャーナル	30
電子書籍の探し方	
5.2. 新聞記事を探す	31
5.3. 事典・辞書類を活用する	33
補足1. 検索条件を調節する	34
補足2. 参考文献の見方・書き方	35

図書館のサービス概要



大学での学びを多面的にサポートします

図書館は、大学での学習や研究に役立つ資料やその検索ツール、学習スペース、機器やインターネット接続環境、サポートサービス等、さまざまなサービスを提供しています。

学習や憩いの場の提供

閲覧席、研究個室、グループ学習室、セミナールームの他、グループでのディスカッションやプレゼンテーション、各種イベント開催可能なラーニングコモンズが設置されています。館内では、飲み物を飲むことができます（資料および施設保護のため蓋付きの飲み物に限りません）。また、リフレッシュや軽食ができるアメニティスペースを設置しています。中央図書館のギャラリースペースでは、サークル活動の成果等を展示できます。



機器やネット環境の提供

館内には、情報基盤統括センターの利用者向けパソコンが設置されており、インターネットの利用や、レポートやプレゼン資料の作成等ができます。

自分のパソコンやタブレット等を持ち込んで、インターネットに接続することもできます。

ノートパソコンやプロジェクター、スクリーン、LANケーブルの貸出をしています。複写や印刷ができます。



サポートサービスの提供

図書館の利用方法や、資料の検索・入手方法、調査方法など、職員が随時ご相談にのります。

鹿児島大学に希望する資料がない場合は、学外からコピーや現物を取り寄せたり（有料）、購入リクエストを出すことができます。

情報の探し方やレポートの書き方、データベースの使い方等、学習スキルを向上させるための様々なガイダンスを開催したり、ガイド資料を提供しています。



資料・検索ツールの提供

鹿児島大学では、図書約123万冊、雑誌約4.2万種、電子書籍約11,300点、電子ジャーナル（購読）約5,500種の資料を提供しています。これらの資料は、図書館HPにて簡単に検索することができます。

論文や新聞記事、辞典類の検索や全文入手ができる各種文献データベースや、大学の研究成果物や貴重資料の情報を公開するデータベースも図書館HPで提供しています。





1.1. 学習や憩いのスペースを利用する

図書館の様々なスペースを、目的に応じて使い分けよう。

閲覧席（自由）、研究個室（要予約）



資料の閲覧や学習に利用できる閲覧席が多数あります。中央図書館2F～4Fには、個人学習に利用できる研究個室もあります。個室には、情報基盤統括センターのパソコン(デスクトップ型)が設置されています。

利用やサービス について

グループ学習スペース



グループでの勉強会等に利用できるグループ学習室(要予約)やセミナールーム、グループでのディスカッション、プレゼンテーション、各種イベントに利用できるラーニングコモンズ。いずれも学生の創造的・能動的な学修を支援する施設です。大いに活用してください。

※要予約の施設の利用を希望される場合は図書館カウンターへ学生証を提示してお申し込みください。ネット予約も可能です。

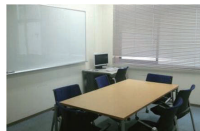


アメニティスペース

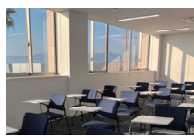
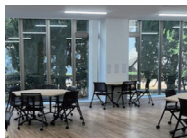
※館内では、飲み物を飲むことができます(資料および施設保護のため蓋付きの飲み物に限ります)。また、リフレッシュや軽食ができるアメニティスペースを設置しています。学習が長時間にわたるときは、適宜休憩を取ったり水分補給をしたりしましょう。



▲中央図書館研究個室



▲中央図書館グループ学習室



▲水産学部分館セミナールーム

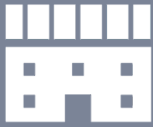
▲中央図書館ラーニングコモンズ ▲桜ヶ丘分館ラーニングコモンズ ▲桜ヶ丘分館セミナールーム

予約の有無	ネットで事前予約		自由に利用可能▲予約不要		
	個人学習	グループ学習	個人学習	個人・グループ学習	軽食可能な場所
中央図書館	研究個室	グループ学習室	閲覧席	ラーニングコモンズ	2Fアメニティルーム (自販機あり)
桜ヶ丘分館				ラーニングコモンズ セミナールーム	1Fエントランス ホール (自販機あり)
水産学部分館				セミナールーム	1F学習ラウンジ



ギャラリーアトリウム

中央図書館1F吹き抜けの展示スペース「ギャラリーアトリウム」では、サークル活動の成果等を展示できます。利用を希望される場合は、図書館カウンターへお申し込みください。



1.2. パソコン等の機器を利用する



利用やサービス について

館内にはパソコンが設置されており、自由に利用することができます。インターネットの利用や、レポートやプレゼン資料の作成等にご活用ください。自分のパソコンやタブレット等を持ち込んで、インターネットに接続することもできます。

ノートパソコンやプロジェクター、スクリーン、LANケーブルの貸出をしています。
複写や印刷ができます。



情報基盤統括センターの利用者向けパソコン

パソコンのログインには、情報基盤統括センターが発行する「鹿児島大学ID」とそのパスワードが必要です。利用時には、情報基盤統括センターの利用規則を守りましょう。



▲デスクトップ型 ▲ノート型

館	設置場所
中央図書館	1F～4Fパソコン端末コーナー、2F～4F研究個室、2F～4F東側グループ学習室（一部）、4F情報リテラシー支援室
水産学部分館	1F学習ラウンジ、2F閲覧室



無線LANサービス

図書館内各所に無線LANアクセスポイントを設置しています。自分のパソコンやタブレットからインターネット接続サービスが利用可能です。

鹿児島大学構内の無線LAN（SSID:eduroam）に、ユーザ名：鹿児島大学ID@kagoshima-u.ac.jpで接続すると、学内ネットワークが利用できます。

利用方法の詳細については、情報基盤統括センターのホームページをご覧ください。



機器貸出

ノートパソコンやプロジェクター、スクリーン、LANケーブルの貸出をしています。利用を希望される場合は、図書館カウンターへお申し込みください。



コピー機、プリンター

館内のコピー機で、館内資料の複写や、PDF・画像ファイルの印刷ができます。（水産学部分館のコピー機はPDF印刷不可）



利用やサービス について

1.3. 学内ネットワークの利用



鹿大生のメリットを最大限に活用しましょう

鹿児島大学では多数の電子ジャーナル・電子書籍・文献データベースを契約しており、みなさんはこれらを自由に利用できます。

利用にあたっては、学内ネットワークに接続された端末からアクセスする必要があります。学内ネットワークの利用方法はいくつかあります。学外から利用できる方法もありますので、これらを利用しながら、学内で提供されている様々な電子リソースを常時フル活用しましょう。



学内で学内ネットワークを利用する



学内に設置されているパソコンから利用する

パソコンのログインには、情報基盤統括センターが発行する「鹿児島大学ID」とそのパスワードが必要です。



持ち込み機器を学内ネットワークに接続する

以下の学内者向けインターネット接続サービスを利用できます。利用方法詳細については、情報基盤統括センターのホームページをご覧ください。

- ・有線LAN：1X認証ネット ※初めに機器設定が必要です。
- ・無線LAN：eduroam



学外から学内ネットワークに接続する

VPN接続（情報基盤統括センター提供サービス）

VPN (Virtual Private Network) 接続サービスは、インターネットを通じて学外にある機器を学内のネットワークに接続するサービスです。Windows、Mac OS、iPhone、iPad、Androidスマートフォンから、利用できます。利用前に、各機器に所定の設定が必要です。設定方法は情報基盤統括センターHPをご覧ください。設定後は、一般回線でインターネット接続した上で、VPN接続することで、学内ネットワークを利用できます。VPN接続には「鹿児島大学ID」とそのパスワードが必要です。

学認

電子ジャーナル・データベースの一部は、各Webサイトへアクセスし、学術認証フェデレーション (GakuNin) の仕組みを使って、学外から利用することも可能です。利用連携サービスにアクセスすると「所属機関の選択」が表示されますので、「鹿児島大学ID」とそのパスワードによるログインを行い利用します。事前に自分の鹿児島大学IDで学認が利用できるか確認してください。→「鹿児島大学IDマイページ」にログインし、サービス一覧で「eduroam・学認」が「利用可」と表示されていれば、利用できます。



1.4. 便利なサポートサービス



My Library

図書館の各種手続きや各種サービスの申し込み等を、Web上で簡単にできる「My Library」を活用すると便利です。

例えば、鹿児島大学に自分の学習に必要な資料が所蔵されておらず、学外から取り寄せたいときは、My Libraryからいつでも申し込みできます。自分専用のポータルサイトとしても利用できます。ぜひご活用ください。

利用やサービスについて

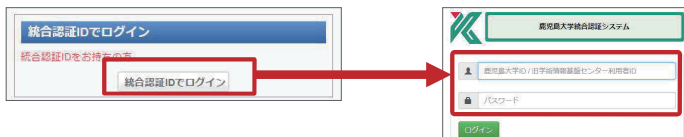


My Library【ログイン方法と最初の画面】

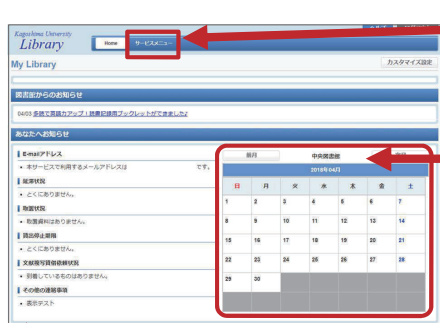
図書館HPへアクセス > ヘッダーの「My Libraryログイン Web申込/照会」を選択



「My Library」ログイン画面へ遷移します。統合認証IDでのログインを選択し、鹿児島大学統合認証システムで、鹿児島大学IDとそのパスワードを入力してください。



▼My Libraryの画面



メニューバーの「サービスメニュー」をクリック！
利用できるサービスが
一覧表示されます。

■カレンダー表示

自分が借りている本の返却日や図書館の休館日が表示されます。また本を延滞して返却したときは、ペナルティの停止期限が表示されます。

My Library 【あなたへのお知らせ】

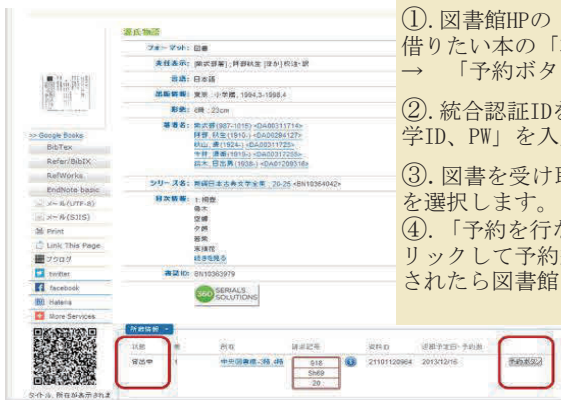
- 延滞状況→返却期限を過ぎて延滞している場合は表示されます。
- 取置き状況→予約した本の取り置き状況が表示されます。
- 貸出停止期限→本を延滞して返却した時、ペナルティの停止期限が表示されます。
- 文献複写貸借依頼状況→文献コピーや本の依頼状況が表示されます。



1.4. 便利なサポートサービス



My Library 【オンラインでの本の予約のしかた】



- ①. 図書館HPの「蔵書検索」結果で借りたい本の「状態」が「貸出中」→ 「予約ボタン」をクリック
- ②. 統合認証IDを選択し「鹿児島大学ID、PW」を入力して予約画面へ
- ③. 図書を受け取る館（最寄の館）を選択します。
- ④. 「予約を行なう」ボタンをクリックして予約終了、予約本が返却されたら図書館から連絡が来ます。

利用やサービスについて



My Library 【サービスメニュー】

サービスメニュー	
利用者情報変更	
貸出状況確認	
予約状況確認	
ILL (文献複写・貸借) 依頼	
貸出履歴一覧	
ASKサービス	
施設予約 (中央図書館)	
施設予約 (桜ヶ丘分館)	
施設予約 (水産学部分館)	

■利用者情報変更 (スマホ不可→PCのみ)
電話番号とメールアドレス2件登録 (kではじまるメールアドレス登録は必須) できます。返却日事前通知 にを入れると、返却日近くにメールが届きます。

■貸出状況確認
返却期限内の貸出図書は、自分で貸出期間を延長することができます。延長期間は「学部生：14日間 / 大学院生：30日間」、延長可能回数は「1回のみ」※他の利用者による予約が入っている場合は、延長ができません。

■予約状況確認
予約している資料の情報や状況を確認できます。
予約取消も行えます。

■ILL (文献複写・貸借) 依頼
鹿児島大学内にない資料は、論文の複写と本の貸借の依頼ができます。(複写料や送料自己負担)

*コピー取寄「複写依頼」/ 現物取寄「貸借依頼」選択

■Askサービス
図書館で調査・回答可能な各種質問を受付しています。

■貸出履歴一覧
自分の貸出履歴一覧がわかり、読書傾向から、本をおすすめしてくれます。

■施設予約
グループ学習室、研究個室などの施設予約ができます。
*中央図、水産図は使用日の30日前から当日の利用時刻5分前までネットで事前予約可能 (桜ヶ丘分館は前日まで)
*1回あたりの利用時間の上限は、3時間です。

※「利用者情報変更」以外はスマホでも利用できます。



利用やサービス について

1.5. 各種ガイダンスを受講する レファレンスサービスを利用する



自分に合ったプログラムでスタディスキルUP

大学での学びや研究をよりよいものにするには、質の高い学術情報を効率的に入手し、適切に発信する力を持つことが欠かせません。

図書館では、みなさんに向けて、その力を強化するための各種ガイダンスプログラムを用意しています。学年等のレベルや分野に応じて、自分に合ったものを選び、ステップアップしていくことができます。ぜひ活用してください。

図書館HPへアクセス > イベントを選択



様々なガイダンスの開催情報を案内しています。

「学習や研究に必要な情報をうまく探せるようになりたい!」「レポートや論文を書くときに役立つコツやツールを知りたい!」「マンツーマンで教えてほしい!」

みなさんの様々なご要望にお応えします。

詳細は、図書館HPやパンフレットをご覧ください。



<レファレンスサービス(図書館調査支援サービス)>

調べ物をしているときに、「ちょっと手助けがほしいな」と思ったことはありませんか? 図書館では、様々な情報源、全国の図書館相互のネットワークをフル活用して、利用者の皆様が資料や情報を探すお手伝いをいたします。以下のような事で困った時は、お気軽に図書館のレファレンスカウンターへお申込みください。

●メールでのレファレンス をお受けいたします。

メールにご質問内容を記入の上、下記連絡先へご送付ください。

●連絡先E-MAIL : joho のあとにlib.kagoshima-u.ac.jpをつけてください。

●My libraryよりAskサービスを使って図書館に質問ができます。

英語力を
伸ばしたい方へ
お薦め

中央図書館2Fアメニティルームには、英語多読本のコーナーがあります。多読とは、大量の言語に触れることで言語力を養う学習法のことです。気軽に簡単なレベルから始め、楽しみながらどんどん語学力を向上させていくことができます。ぜひコーナーを覗いてみてください。多読本の電子ブックもご利用になれます。



2. 1. 情報活用の流れー6つのプロセスと

レポート作成の10のステップ



学部1年生は、これでレポート作成ができるようになるう！

下の図は、レポートや論文作成の際、課題を解決するため取る、情報活用行動のプロセスを、6つの場面に分けて示したものです。自分が今どこにいて、どの方向へ進めば（あるいは戻れば）よいのか、自分で判断するための参考とすることができます。合わせて右側のレポート作成の10のステップの流れと一緒にみてみましょう。

大学での学びにおいて、この一連の具体的プロセスを何度も繰り返し経験していくことで、情報を活用する力を高めていくことができます。



レポート・ 論文を書く

レポート作成の10のステップ

1 課題の意図の正確な認識や理解

- * 教員からの課題を正しく理解する
- * 自分の興味や問題意識に合わせて、テーマを絞り込む

Step1 テーマの選択

Point 疑問や主張を文章化・図式化

2 情報探索の計画

- * 学術情報の種類や特性を理解し、課題を解決するための情報を探し計画を立てられる
- * 情報を入手するために、図書館が提供している各種サービスから必要なものを判断・選択できる
→P. 15～P. 33参照

Step2 事前調査

テーマの背景となる知識、キーワードを得る



図書館の活用
事典、辞書、Web情報、入門書等を利用してみましょう

Point 基本概念、用語をメモ

Step3 仮アウトラインの作成

書く項目を選び構成し仮アウトラインを作成する

Point 述べる順序をだまかに箇条書き

3 情報の探索・入手

- * 指定された資料が学内で利用できるかどうか、図書館の検索サービス等を使って調べられる
- * 必要な資料を入手できる
インターネットは最後の手段。
まずは図書館の中にある資料から探し出す習慣を身につけよう
- * 参考文献リストを正しく読み取り、自らの調査に活用できる→P. 35参照

Step4 関連文献調査

情報源を探し出し、引用する文献の情報を書き出す



図書館の活用
まなぶたSearch、ブックマ
Catalog、論文データベース、新聞
記事データベース、電子ジャーナ
ル・電子書籍等を利用しましょう

Step5 文献の入手

資料から、あるいはインタビューやアンケート調査、観察・実験等から収集する



図書館の活用
資料の複写や借用、学外からの取り
寄せ等を利用しましょう

2. 1. 情報活用の流れー6つのプロセスと

レポート作成の10のステップ



学部1年生は、これでレポート作成ができるようになるろう！

4 情報の分析・評価・整理・管理

【入手した情報について】

- * その信頼性や、課題との関連性を判断できる
- * 課題解決に活用できるものを取捨選択できる

Step6 文献の読解と整理

読解のPoint

・文献の目的、対象は？／データや文献は適切か？／事実と意見は区別されているか？／結論・主張は何か？／目的と考察分析と結果・主張は一致するか？／どんな理論を用いているか？／筆者はどんな点に関心を寄せているか？／論理的・法的に問題はないか？

5 情報の批判的検討、知識の再構造化

【入手した情報について】

- * 比較し類似点や相違点を整理できる
- * 自らの考えとの類似点や相違点を比較し、自らの考えを深めることができる

情報カード作成のPoint

一枚のカードに1つの事柄を書き、見出しを付けておく／原文の引用は原文のまま、句読点まで正確に、Step4で作成した文献番号や引用箇所のページを記録しておく／自分の言葉で内容の要約をしておく／自説を展開する

6 情報の活用・発信、プロセスの省察

- * レポートの一般的形式を理解できる
- * 他人の文章と自分の文章を区別して書くことができる
- * 情報の典拠を示し、適切に引用できる
- * わかりやすい文章でレポートをまとめることができる

Step7 最終アウトラインの作成

自分の主張を表現できるようなアウトラインに構成し直す

Step8 執筆と校正

アウトラインにそって情報カードを利用し執筆する

- ・である調
- ・同一概念は同一用語で
- ・わかりやすい文章表現
- ・学術用語は区別

Step9 出典の表示

注と参考文献リストを作成する

出典の明記必須／注で出典を示す

- ・その他の借りた言葉や考え、事実にも、注で出典を示す
- ・参考文献リストを作成する (→p. 35参照)
- * 作成時には「Mendeley」等の文献管理ツールを利用すると便利です

Step10 仕上げ

定められた形式に整えて期限内に提出する

1. 表紙
2. 目次
3. 本文 (序論・本論・結論)
4. 注
5. 参考文献リスト

* 資料やWebサイトの情報などには、著作権があります。引用できる条件、出典の示し方、参考文献リストの表示など、引用・参照のルールを守り、盗用・剽窃行為にならないように注意しましょう。

* レポートの書式については、レポートの書き方についての図書を参考にしたり、指導教員の指示に従いましょう。





2.2. 情報の種類、ツールの選択



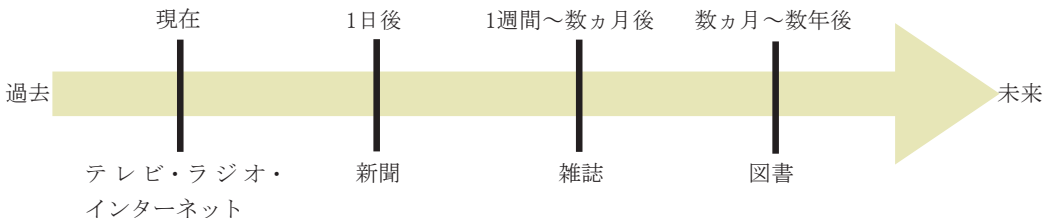
調査目的に適した情報は？

学術情報はさまざまな形態で存在しているため、正しく活用するためには各情報源の特性を知り、目的に応じて使い分けする必要があります。資料（情報）の種類によって探し方や利用するツールが異なりますので、目的に応じて適切な調査手段を選択してください。迷ったら、まずはまなぶたSearchを使うと良いでしょう。

また、特に学部1年生は下記表の上の項目から順に優先して情報収集し、なおかつ、いずれを用いた場合でも必ず複数の資料や情報源に当たって、内容を比較検討するよう心掛けてください。

情報を知る

種類	刊行形態	内容・情報	探し方・ツール
事典、辞書類	<input type="checkbox"/> 時間を経て随時、毎年などさまざま <input type="checkbox"/> 総合、各種専門分野	<input type="checkbox"/> ある言葉や事柄についての解説 <input type="checkbox"/> 体系的に項目を整理して記述 <input type="checkbox"/> 各分野の専門家による記述で信頼性が高い	テーマ調査 ◇ 特定のことばや事柄から探す → 事典・辞書データベース (p. 33) → 専門分野の事典・辞書類 (p. 33)
図書	<input type="checkbox"/> 単発的（非定期的）に出版	<input type="checkbox"/> ある特定の主題に関して記述 <input type="checkbox"/> 体系的でまとまりのある内容	図書・雑誌 ◇ 書名や著者名などで探す ◇ 研究テーマのキーワードで探す ◇ 所蔵先を調べ、入手する → まなぶたSearch (p. 15-18) → ブックマCatalog (p. 19-21) → 書架のブラウジング (p. 22) → 電子ジャーナル・電子書籍 (p. 30) → 学外蔵書検索ツール (p. 23)
雑誌	<input type="checkbox"/> 定期的、継続的の刊行週刊、月刊、季刊など <input type="checkbox"/> 一連の巻号が付与	<input type="checkbox"/> 複数の論文・記事を収録 <input type="checkbox"/> 先端的内容 <input type="checkbox"/> 速報性・適時性重視	雑誌論文・新聞記事 ◇ 論文名や論文著者名で探す ◇ 研究テーマのキーワードで探す → まなぶたSearch (p. 15-18) → CiNii Research等の論文データベース (p. 25-26) → 新聞記事データベース (p. 31)
新聞	<input type="checkbox"/> 日刊など、継続的な刊行 <input type="checkbox"/> 全国紙・地方紙 <input type="checkbox"/> さまざまなメディアに変換されて提供	<input type="checkbox"/> 一般紙…全分野の内容 <input type="checkbox"/> 専門紙…ある分野に特化 <input type="checkbox"/> 時事問題、世論 <input type="checkbox"/> 速報性優先	
ウェブ情報	<input type="checkbox"/> 随時 <input type="checkbox"/> 機関や個人のサイトなど	<input type="checkbox"/> あらゆる分野の事柄 <input type="checkbox"/> 情報の質はさまざま <input type="checkbox"/> 速報性の高低はまちまち	◇ 研究テーマのキーワードなどで探す → 検索エンジン、ポータルサイトなど





情報を 評価する

2.3. 情報の分析と評価



信頼できる情報を手に入れるには

文献調査で使用する情報には、p.13で挙げたように様々な種類がありますが、収集した情報が信頼できるものかどうか、情報の受け手側が評価・判断する必要があります。情報の出所がはっきりしているか等を確認するようにしましょう。特にウェブ情報は玉石混交ですが、信頼性を判断する基準の一つとなりうるのが、ドメインです。

また、情報がどのように評価されているのかを数値で示す各種評価指標も、判断手段の一つとなりうるでしょう。





ウェブサイトのドメイン ※主要なもの

信頼性（目安）	ドメイン名	サイトの責任者・機関
信頼度の高いサイト	.go.jp	日本の政府機関や各省庁所管の研究所等
	.lg.jp	地方公共団体
	.ed.jp	保育所、幼稚園、小学校、中学校、高等学校等
	.ac.jp	大学、高等専門学校等の学術研究機関や学校法人等
	.or.jp	財団法人、社団法人、国連等の公的な国際機関等
そのページの情報について確認が必要なサイト	.co.jp	日本国内に登記を行っている会社等
	.ne.jp	日本国内のネットサービスの利用者等
	.com	企業や営利組織等
	.org	非営利団体（NGO、NPO等）等

<参考> 「.go.jp」のサイトの一例に、日本の政府統計関係情報をワンストップで検索・入手できる「政府統計の総合窓口 e-Stat」（<https://www.e-stat.go.jp/>）があります。「.co.jp」のサイトの一例に、学術情報検索に特化したサーチエンジン「Google Scholar」（<https://scholar.google.co.jp/>）があります。



様々な評価指標

論文 	論文の影響度を推測する手段として代表的なものが、その論文が引用された数です。一般に、引用された数が多いと、その論文の影響度が高いとされます。「Scopus」（p.27）では、論文の引用情報が示されているので、参考にしてみてください。 なお、論文が引用されるまでには時間がかかることもあり、近年、論文への注目度を、文献管理ツールでの読者数やSNSでの言及数等のデータを元に数値化した「オルトメトリクス（Altmetrics）」も補完的な情報として提供されています。「まなぶたSearch」の検索結果一覧、電子ジャーナルの出版者Webサイト等で表示される場合があります。「Scopus」の詳細表示画面にある「PlumX論文評価指標」でも提供されています。
雑誌 	「Journal Citation Reports」（ https://jcr.clarivate.com/ ）というツールを利用することができます。引用データに基づいた、学術雑誌の影響度を示す指標「インパクトファクター」等を確認することができます。



情報を探す
・入手する

3.1. まなぶたSearch(1)



あらゆる学術情報をまとめて探せます

「まなぶたSearch」は、情報資源のタイプ（図書・雑誌・論文／紙・電子等）を問わず、膨大な学術情報を、1つの検索窓からまとめて探せるツールです。自分に必要な学術情報を素早く発見できます。何か文献を調べたいときには、まずは「まなぶたSearch」を使ってみましょう。

大量の学術情報がヒットするため、検索結果を「絞り込む」ことが非常に重要です。検索結果一覧画面の各種絞り込み機能を活用しましょう。



パソコンから利用する場合



▼検索結果一覧画面



1. 【検索窓】検索キーワードをスペースをはさみ追加して再検索することで、絞り込みを行えます。
2. 【絞り込条件】目的に応じた各種条件で、絞り込みを行えます。ここをうまく使いこなすと効率的な情報検索ができます。
3. 検索結果一覧の並び順を変更できます：
適合度順
日付（新しい順）
日付（古い順）
4. 検索結果一覧。資料種別がアイコンで識別できます。Web上で本文が読めるものには、「本文（オンライン版）あり」のマークが付いています。
5. Quick Look を開くと資料の詳細な情報が表示されます。

絞り込み

- ・「本文（オンライン版）あり」→Web上で本文が読める資料
- ・「ブックマCatalog(学内蔵書)」→鹿児島大学が所蔵している冊子体資料

資料種別で絞り込む（複数選択できます）
例：雑誌論文／図書or電子書籍／雑誌or電子ジャーナル

発行年月日
・日付範囲を指定できます。

<目的に応じて絞り込み条件を設定しよう>

- 項目名をクリック/タップ→その項目のみに絞り込み（☑マークが表示される）
- 「×以下の項目を検索結果から除外する」をクリック→その項目を除外した結果が表示





スマートフォンから利用する場合

図書館HPへアクセス



まなぶたSearchを選択

図書館HPの検索窓に
キーワードを入力

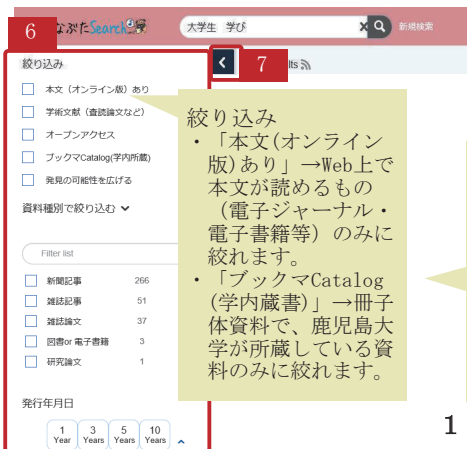
▼検索結果一覧画面



資料名をタップして入手へ (→p. 17-18)

1. 検索キーワードを追加して再検索することで、絞り込みを行えます。
2. 「Filters」をタップすると、絞り込み条件を指定できる画面が表示されます。
3. 検索結果一覧の並び順を変更できます:
適度度順
日付 (新しい順)
日付 (古い順)

▼絞り込み条件指定画面



絞り込み

- ・「本文(オンライン版)あり」→Web上で本文が読めるもの(電子ジャーナル・電子書籍等)のみに絞れます。
- ・「ブックマCatalog(学内蔵書)」→冊子体資料で、鹿児島大学が所蔵している資料のみに絞れます。

資料種別で絞り込む (複数選択できます)

- ・雑誌論文/図書or電子書籍/雑誌or電子ジャーナル/新聞記事/会議録/学位論文 等々。

発行年月日

- ・カレンダーから選んだりすることで、日付範囲を指定できます。



情報を探す
・ 入手する

3.1. まなぶたSearch (2)



あらゆる学術情報をまとめて探せます

「まなぶたSearch」の検索結果から希望する文献を入手する方法は、入手先により異なります。検索結果一覧で各文献のタイトルをクリック/タップすると、鹿児島大学でどのようにその文献を入手できるかを案内します。入手先により、以下の(1)~(3)のように遷移先が異なります。

「まなぶたSearch」の利用方法については、図書館HPで公開しているクイックガイドも参考にしてください。まなぶたSearchで利用可能な電子リソースについても図書館HPでご案内しています。

(1) 鹿児島大学に冊子体が所蔵されている場合の画面遷移

パソコンから利用する場合

まなぶたSearch検索結果

ブックマCatalog詳細表示

電子リソース

配架場所

スマートフォンから利用する場合

まなぶたSearch検索結果

ブックマCatalog詳細表示

電子リソース

配架場所

上半分

下半分

▼このマークは書籍（紙媒体）です

▼このマークは電子ブックです

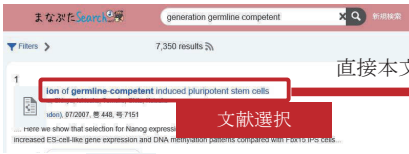
「まなぶたSearch」の所在名の文字列をクリックやタップすると、「ブックマCatalog」(→ p. 19-21)へ遷移し、その図書に関する詳細情報が表示されます。



(2) Web上で本文が入手できる場合 (電子ジャーナル・電子書籍・機関リポジトリ等)



パソコンから利用する場合



直接本文入手先へ遷移

文献選択

▼このマークは論文を指しています。

文献タイトルをクリックすると、本文入手先のWebサイトへ遷移し本文を入手することができます。

● Full Text Online ● 本文 (オンライン版) あり

「Full Text Online」や「本文(オンライン版)あり」をクリックすると、本文入手先のWebサイトを全画面表示できます。詳細表示を開くと、文献の概要を表示するほか、様々な情報を提供しています。



スマートフォンから利用する場合



本文入手先へ遷移

文献選択



文献タイトルをタップすると、本文入手先のWebサイトへ遷移し本文を入手することができます。

(3) Web上では本文が入手できない場合の画面遷移

鹿児島大学でその文献をどのように入手できるかを案内する「鹿大Full Text Navigation」(→p. 29)になります。まずは「2. 冊子体の所蔵を調べる」で検索して学内所蔵有無を確認し、学内に所蔵がない場合は、学外からの取り寄せを、「3. 文献複写を申し込む/My Library」から申し込んでください。



<本文入手まで>

学内で入手できるもの

速



Webコンテンツ



冊子体蔵書



学外から取寄



遅

3.2. ブックマCatalog



鹿児島大学の蔵書を探せます

情報を探す
・入手する

学内にある資料は「ブックマCatalog」というツールで探せます。
（「ブックマCatalog」で探せるのは紙媒体資料です。電子資料は「電子ジャーナル・電子ブックポータル」で探します（→p.30））。

学内には多数の所在場所があります。図書館ではなく、学部の研究室等に配架されている資料を利用したいときは、その資料の情報を持って、図書館カウンターへご相談ください。

図書館に配架されている図書は、「ブックマCatalog」の「予約」ボタンから、貸出中の図書の予約や、他キャンパスにある資料の取り寄せを行えます。

パソコンから利用する場合



図書館HPへ
アクセス



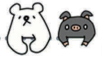
▼ 検索結果一覧画面

資料名をクリックして詳細画面へ

1. 検索窓へのキーワード追加や、ファセット利用により、資料を絞り込むことができます。
2. 入力したキーワードで、別のデータベースの検索を行えます。連携先：CiNii Books、NDL Search、Amazon、カール、WorldCat（→p.23も参照）
3. 「絞り込み条件」をクリックすると、条件を細かく指定して絞り込むことができます。
4. 検索結果一覧の並び順を変更できます：
関連度
タイトル（昇順/降順）
著者名（昇順/降順）
出版年（古い順/新しい順）

▼ 詳細画面（図書）

5. 書名・著者名・出版情報などの基本的な書誌情報を表示しています。
6. 所蔵情報を表示しています。図書館に配架されている資料は、所在場所をクリックすると、その資料の所在場所に色がついた館内マップが表示されます。図書は請求記号と照らし合わせて、配架されている棚へ行き、入手してください。
7. 文献管理ツールで利用可能なファイル形式への書き出しを行えます。
8. QRコードを読み取ると、書名・所在情報を表示します。携帯電話を手に棚へ行く際等にご活用ください。
9. 「詳細」をクリックすると、5では表示されていない詳細な情報を表示します。
10. 検索した図書に対して、本学所蔵資料の中から類似資料を紹介します。



▼詳細画面 (雑誌)

11. バナーをクリックすると、電子ジャーナルポータル (→p. 30) にアクセスし、当該タイトルの電子ジャーナル購読有無をワンクリックで確認できます。
12. 電子ジャーナルを利用できる場合、「eリソース」欄が表示され、リンクを辿って入手先へ遷移できることがあります。
13. 雑誌には巻号があります。自分が必要な巻号が所蔵巻号に含まれているかどうか、必ず確認してください。
14. 雑誌は各所在場所において、原則、タイトルのアルファベット順で配架されています。
15. インフォメーションボタンが表示されている場合は、必ずクリックして内容を確認してください。



スマートフォンから利用する場合

図書館HPへアクセス

▼検索結果一覧画面

1. 検索窓へのキーワード追加により、資料を絞り込むことができます。
2. 「絞り込み条件」をタップすると、条件を細かく指定して絞り込むことができます。
3. 検索結果一覧の並び順を変更できます:
開連度
タイトル (昇順/降順)
著者名 (昇順/降順)
出版年 (古い順/新しい順)
4. 検索結果一覧リスト下部には、資料を絞り込むためのファセットが提示されています。



▼詳細画面（図書）

5. フォーマット、出版、発行年、言語、出版情報、来歴、頁数、ISBN、電子ジャーナルの有無、価格、予約ボタン

6. 所蔵情報

7. 詳細

8. 類似資料

▼詳細画面（雑誌）

5. フォーマット、出版、発行年、言語、出版情報、来歴、頁数、ISSN、電子ジャーナルの有無、価格、予約ボタン

9. eリソース

10. 刊行情報

11. 電子ジャーナルの有無

12. OPAC注記

- 書名・著者名・出版情報などの基本的な書誌情報を表示しています。
- 所蔵情報を表示しています。図書館に配架されている資料は、所在場所をタップすると、その資料の所在場所に色がついた館内マップが表示されます。図書は請求記号と照らし合わせて、配架されている棚へ行き、入手してください。
- 「詳細」をタップすると、5では表示されていない詳細な情報を表示します。
- 検索した図書に対して、本学所蔵資料の中から類似資料を紹介します。
- 電子ジャーナルを利用できる場合、「eリソース」欄が表示され、リンクを辿って入手先へ遷移することがあります。

- 雑誌には巻号があります。自分が必要な巻号が所蔵巻号に含まれているかどうか、必ず確認してください。
- 雑誌は各所在場所において、原則、タイトルのアルファベット順で配架されています。
- インフォメーションボタンが表示されている場合は、必ず内容を確認してください。



図書の予約・取り寄せ

予約ボタンをクリック/タップすると、My Library (→p.9)へ遷移しますので、受け取り館の選択をしてください。

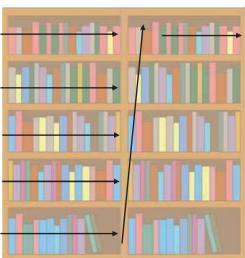


図書の並びについて（請求記号）

図書は、請求記号順に並んでいます。

書棚に向かって、一番上の段の左から右へ順に見ていきます。請求記号の一段目の分類番号の若い順に並んでいます。分類番号が同じ場合は、二段目のアルファベット順に並んでいます。

▼請求記号（背ラベルの記号）



450	→	分類番号：日本十進分類法(NDC)
U25	→	図書記号：著者名・書名の頭文字の記号



3.3. 書架をブラウジングで探す



日本十進分類法 (NDC)

情報を探す
・入手する

図書の背には「請求記号」のラベルが貼られ、1段目の分類番号順に書棚に並べられています。この分類番号は、日本十進分類法 (NDC) に従ったもので、主題別に体系立てて分類されています。同じ主題の資料が同じ場所に集まるようになっています

この分類番号を利用して、自分の調査テーマに関連する番号の棚をブラウジングする（眺めて回る）ことで、キーワード検索では見つからない調査テーマに合致する資料を探することができます。自分の関心分野の分類番号をおおよそ把握しておくとお便利です。

日本十進分類法 新訂10版 第3次区分表 (要目表) (抜粋)

000 総記	400 自然科学	800 言語
010 図書館. 図書館情報学	410 数学	810 日本語
020 図書. 書誌学	420 物理学	820 中国語. その他の東洋の諸言語
030 百科事典. 用語索引	430 化学	830 英語
040 一般論文集. 一般講演集. 雑著	440 天文学. 宇宙科学	840 ドイツ語. その他のゲルマン諸語
050 逐次刊行物. 一般年鑑	450 地球科学. 地学	850 フランス語. プロバンス語
060 団体. 博物館	460 生物科学. 一般生物学	860 スペイン語. ポルトガル語
070 ジャーナリズム. 新聞	470 植物学	870 イタリア語. その他のロマンス諸語
080 叢書. 全集. 選集	480 動物学	880 ロシア語. その他のスラブ諸語
090 貴重書. 郷土資料	490 医学. 薬学	890 その他の諸言語
100 哲学	500 技術. 工学	900 文学
110 哲学各論	510 建設工学. 土木工学	910 日本文学
120 東洋思想	520 建築学	920 中国文学. その他の東洋文学
130 西洋哲学	530 機械工学. 原子力工学	930 英米文学
140 心理学	540 電気工学	940 ドイツ文学. その他のゲルマン文学
150 倫理学. 道徳	550 海洋工学. 船舶工学. 兵器. 軍事工学	950 フランス文学. プロバンス文学
160 宗教	560 金属工学. 鉱山工学	960 スペイン文学. ポルトガル文学
170 神道	570 化学工学	970 イタリア文学. その他のロマンス文学
180 仏教	580 製造工業	980 ロシア・ソビエト文学. その他のスラブ文学
190 キリスト教. ユダヤ教	590 家政学. 生活科学	990 その他の諸文学
200 歴史. 世界史. 文化史	600 産業	<p>日本十進分類法では、本の内容を3桁の数字で表現することを基とし“000”から“999”までの1,000項目に分類します。しかし、1,000項目だけでは不十分ですので、“.”以下にも分類項目を設定しています。 ※例は以下の通り</p> <p>「91」日本文学 「913」(日本文学) 小説・物語 「913.6」(上記の) 明治以降</p>
210 日本史	610 農業	
220 アジア史. 東洋史	620 園芸. 造園	
230 ヨーロッパ史. 西洋史	630 蚕糸業	
240 アフリカ史	640 畜産業. 獣医学	
250 北アメリカ史	650 林業. 狩猟	
260 南アメリカ史	660 水産業	
270 オセアニア史. 両極地方史	670 商業	
280 伝記	680 運輸. 交通. 観光事業	
29 地理. 地誌. 紀行	690 通信事業	
300 社会科学	700 芸術. 美術	
310 政治	710 彫刻. オブジェ	
320 法律	720 絵画. 書. 書道	
330 経済	730 版画. 印章. 篆刻. 印譜	
340 財政	740 写真. 印刷	
350 統計	750 工芸	
360 社会	760 音楽. 舞踊. バレエ	
370 教育	770 演劇. 映画. 大衆芸能	
380 風俗習慣. 民俗学. 民族学	780 スポーツ. 体育	
390 国防. 軍事	790 諸芸. 娯楽	





3.4. 学外の蔵書を探す



国内外の資料を利用できます

学内の資料に限定せず広範に資料を探したい時は、学外機関の蔵書から調べてみましょう。多機関の所蔵を一括検索できるデータベースを使うと便利です。

鹿児島大学に所蔵されていない特定の資料を利用したい時も、他機関に所蔵があれば、取り寄せて利用することができます(有料)。取り寄せる希望される場合は、図書館カウンターへご相談いただくか、My Library (→p.9) からお申し込みください。

情報を探す
・入手する

図書館HPへアクセス > メニューから「サービス」を選択



サービス一覧から「国内の図書館にある本・雑誌を探す」または「海外にある本・雑誌を探す」を選択。以下は代表例です。



国立国会図書館サーチ

<https://ndlsearch.ndl.go.jp/>

: 国立国会図書館、全国の公共図書館等の蔵書等を一括検索できます。

国立国会図書館デジタルコレクション

<https://dl.ndl.go.jp/>

: 国立国会図書館のデジタル資料を検索・閲覧可能です。「図書館送信資料」は中央図書館の指定端末で閲覧できます。

CiNii Research <https://cir.nii.ac.jp/>

: 国内の大学図書館等の蔵書を一括検索できます。

※令和9年3月末CiNii BooksはCiNii Researchへ完全統合になります。

検索結果のトップの「大学図書館の本を探す」のタブ、または「詳細検索」の中の「本」をクリックすると、本を探せます。



鹿児島県内図書館横断検索

<https://www3.library.pref.kagoshima.jp/>

: 県内の図書館の蔵書を一括検索できます



カーリル <https://calil.jp/>

: 国内の図書館の蔵書検索ができます。

OCLC WorldCat <https://www.worldcat.org/>

: 世界の図書館の蔵書等を一括検索できます。



情報を探す ・入手する

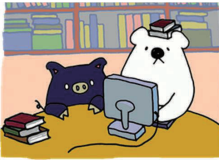
4. 1. 論文活用の流れ



検索から入手までの流れをおさえましょう

大学での学びでは、論文を読むことが欠かせません。論文を入手するには、いくつかのステップを踏む必要があります。検索から入手までの基本的な流れをおさえておきましょう。効率的な本文入手をサポートする「鹿大Full Text Navigation」(→p. 29)も活用してください。

論文を探してみよう



1. どんな論文があるのかを調べる

論文データベースでキーワード検索してみましょう。

- ・まなぶたSearch (→p. 15-18)
- ・日本語の論文を探すならCiNii Research (→p. 25-26)
- ・外国語の論文を探すならScopus (→p. 27)
- ・分野別データベース (→p. 28)

“Nature” 208巻
531-535ページ 1965年



2. その論文は何という雑誌に掲載されているかを確認する

1. のデータベースで読みたい論文が見つかったら、その論文が掲載されている雑誌名・巻号・ページ・出版年をチェックしましょう。

一つの雑誌には大量の異なる論文が掲載されているので、巻号・ページ・出版年をひかえておかないと、本文にたどり着けません。

電子ジャーナルで読めるかな？



3. その雑誌が鹿児島大学で利用できるものかどうか調べる

(1) Web上で読める？

鹿児島大学で利用できる電子ジャーナルかどうか調べてみましょう(→p. 30)。利用できるものだったら、出版者のWebサイトで本文を入手できます。

雑誌がWeb上で無料公開されている場合もあります(オープンアクセスジャーナル、機関リポジトリ(*)で公開されている紀要等)。

(2) 冊子体で読める？

Web上で本文を入手できなかつたら、鹿児島大学に冊子体の所蔵がないか、ブックマCatalog (→p. 19-21)で調べてみましょう。所蔵があったら、その雑誌の所在先へ行って利用しましょう。

紙の雑誌
が鹿大に
あった



取り寄せ
したい



4. 学内で入手できなかった場合は、学外から取り寄せる

鹿児島大学では入手できなかったら、学外からの取り寄せ(論文のコピーの取り寄せ)を検討しましょう。図書館カウンターやMy Library (→p. 9)でお申し込みください(有料サービスです)。

* 多くの大学等の研究機関が、自機関の研究成果を機関リポジトリと呼ばれるシステムで無料公開しています。

スムーズな本文入手をサポート！便利な「鹿大Full Text Navigation」(→p. 29参照)



論文データベースによっては、「鹿大Full Text Navigation」アイコン(左図いづれか)が表示されます。アイコンをクリックすると、論文がWeb上で読めるものの場合、そのままWeb上の論文本文へ誘導され、簡単に本文入手できます。Web上で読めないものは、冊子体の学内所蔵確認や、学外からの取り寄せ申込を案内します。



情報を探す ・入手する

4.2. 日本語の論文を探す



CiNii Research (さいにいりさーち)

日本語の論文を探す時に利用できる代表的なデータベースの一つが「CiNii Research」です。国内学協会の学術雑誌、大学等の研究紀要に収録されている論文を検索できるほか、図書・雑誌・博士論文、研究データやプロジェクト情報などの学術情報を幅広く検索できます。

キーワード検索のほか、雑誌名、著者名、出版年や巻号等、検索条件を細かく指定して検索することもできます。論文情報に加えて、本文入手を支援する情報もあわせて提供されており、シームレスな情報検索・入手ができます。学内ネットワークで利用すると、鹿大向け情報が表示されますので、ご活用ください。

図書館HPへアクセス > メニューから「サービス」を選択



サービス一覧から「データベース一覧」を選択 > 「CiNii Research」を選択
(もしくは <https://cir.nii.ac.jp/> へ直接アクセス)

▼簡易検索画面



※検索条件を細かく指定して検索したい時は、「詳細検索」をご利用ください。



1. キーワード等を追加することで絞り込み検索できます。
2. 操作の選択

「Mendeley/RefWorks/EndNoteに書き出し」では、チェックボックスで選択した論文の基本情報を各文献管理ツールに直接書き出すことができます。

▼検索結果一覧



3. 並び替え
- 検索結果について、並び順の条件を変更して再表示させることができます。

4. 論文の簡略情報

表示される情報の凡例：

論文名/著者名/抄録の一部/
(抄録を含む場合のみ)
刊行物名/巻・号/ページ/
出版年/各種リンク

5. 結果の絞り込み (論文を含む)
図書/雑誌/博士論文/研究データ/プロジェクト情報を選択可能



▼詳細表示画面

6. 論文のタイトル・著者

7. 本文リンク：Web上での入手

8. 本文入手ガイド

9. 収録刊行物の情報

10. 画面切り替え機能

6. 論文のタイトル・著者

7. 本文リンク：Web上での入手

・Web上で本文を入手できる場合、入手先へのリンクボタンが表示されます。

※コンテンツによっては、本文利用が有料の場合があります。図書館へご相談ください。

8. 本文入手ガイド

＜この論文をさがす＞

まずは鹿児島大学で入手できるかどうかを【鹿大向け情報】【ブックマCatalog(鹿大蔵書)】をクリックして確認します。学内で入手できない場合は、【鹿大Fulltextnavigation】(P29参照)をクリックして、学外からの取り寄せ(有料)が、My Libraryのリンクから申込みできます。

9. 収録刊行物の情報

論文を収録している、刊行物名[日・英]、巻号・ページ数・出版年月日、出版者名[日・英]の情報が表示されます。

論文本文の入手や、レポートや論文での引用にあたって必須となる情報です。必ず確認し、転記は正確に行いましょう。

10. 画面切り替え機能

※書籍や雑誌の所蔵を検索するには、この画面の一番上にある【CiNii】横の「大学図書館の本を探す」を選択すると、同じキーワードで書籍や雑誌をタイトルで検索してくれます。

どれが何を示しているの理解しておこう

刊行物名(雑誌名)

鹿児島大学医学部保健学科紀要 = Bulletin of the School of Health Sciences, Faculty of Medicine, Kagoshima University

出版者名

鹿児島大学

巻(号), ページ数, 出版年月日

27(1), 47-53, 2017-03-31



10

CiNii

論文・データをさがす

大学図書館の本をさがす

【CiNii Book】



4.3. 外国語の論文を探す



Scopus (すこーぱす)

外国語論文を探す時に利用できる代表的なツールの一つが「Scopus」です。選定基準をクリアした雑誌、会議録、書籍等を収録しており、6,500万件以上の文献を探すことができる世界最大級の抄録・引用文献データベースです。

情報を探す
・入手する

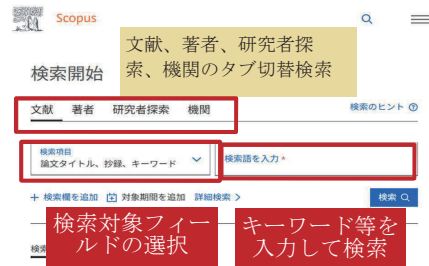
論文の発見に使えるだけでなく、論文間の引用関係を確認することもできます。この引用情報から文献の影響度を調べたり、引用文献をたどって研究の発展や経過を調べることができま

図書館HPへアクセス > メニューから「サービス」を選択



サービス一覧から「データベース一覧」を選択 > 「Scopus」を選択

▼検索画面 (ページ下に日本語表示ボタンあり)



▼詳細表示画面



▼検索結果一覧



1. キーワード追加や項目選択による絞り込み
2. 検索結果の並べ替え
被引用数の多い順に並べ替えて、重要文献を探せます。
3. 論文情報 (出版物名に巻号と頁数)
著者名、出版物ごとに評価指数あり

4. 収録誌と著者名のリンクへ
5. PDF表示 (本文入手可能)
6. FullTEXT、エクスポート、Save to List (アカウント利用)
7. 論文評価指標【インパクト (評価指標)】被引用数 (文献)・参考文献・類似文献をタブで切替して利用
8. 抄録や索引キーワード、助成金情報など
9. 便利なパーソナル機能: 検索式やマイリスト保存
10. Scopusの被引用数: 引用された論文の数。論文の影響度を示します。



4.4. 分野に特化して論文を探す



分野別論文データベースを使いこなそう

分野特化型のデータベースは、総合型データベースよりもその分野の文献をより広範に採録していたり、分野に適した検索方法を提供していることがあります。

情報を探す
・入手する

図書館HPの「データベース一覧」で、様々なデータベースを案内していますので、目的にあったデータベースを選択して、論文を探しましょう。「データベース一覧」では、それぞれのデータベースの使い方ガイドもあわせて紹介していますので、参考にしてください。

図書館HPへアクセス > メニューから「サービス」を選択



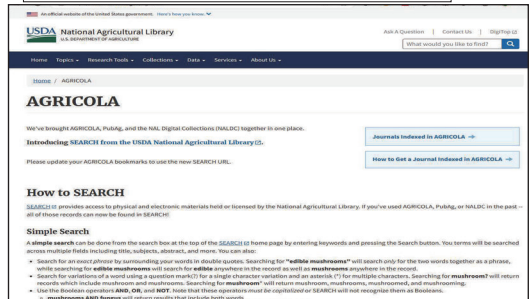
サービス一覧から「データベース一覧」を選択すると、様々なデータベースの案内ページへ遷移します。以下は、分野特化型のデータベースの例です。



▼国文学・アーカイブズ学論文目録データベース

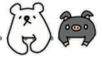


▼AGRICOLA (農学)





4.5. 鹿大Full Text Navigation



スムーズな本文入手をサポート

データベースによっては、以下のような「鹿大Full Text Navigation」アイコンが表示されます。



情報を探す
・入手する

この「鹿大Full Text Navigation」(リンクリゾルバ)は、その文献を鹿児島大学でどのように入手できるかをまとめて案内し、効率的でスムーズな本文入手をサポートするものです。ぜひ活用してください。

各種文献データベースでの検索結果



「鹿大Full Text Navigation」アイコンをクリック

1. Web上での入手可否を確認

Web上で本文が入手できる場合



Web上では本文が入手できない場合



2. 冊子体の学内所蔵有無を確認

冊子体の学内所蔵がある場合



本文入手

3. 学外からの取り寄せを申し込み

My Libraryの文献取寄せ申込画面へ



冊子体の学内所蔵がない場合、画面を戻る



情報を探す
・入手する

5.1. 電子ジャーナル・電子書籍



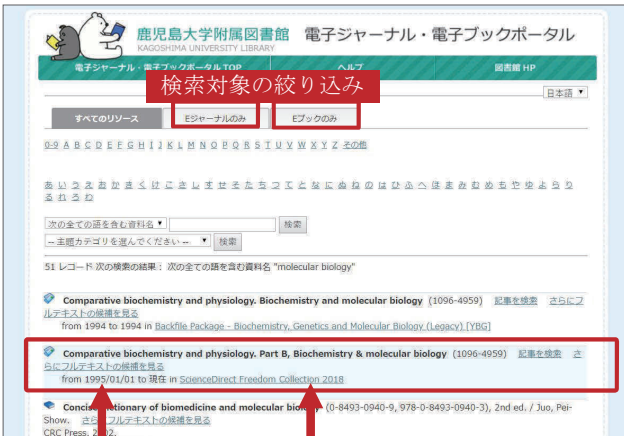
Web上で読める論文や書籍がたくさんあります

電子ジャーナル・電子書籍は、Web上で本文をすべて読むことができる雑誌や本です。鹿児島大学では、電子ジャーナル約5,500種、電子書籍約12,220点を購読契約して提供しており、みなさんはこれらを自由に利用することができます。利用する際は、学内ネットワークに接続された端末からアクセスしてください（→p.7）。電子書籍によっては、同時アクセス数が限られていたり、本文をダウンロードできるページ数に制限がある場合があります。同時アクセス制限があるものは必ず利用後ログアウトしてください。

図書館HPへ
アクセス



▼検索結果一覧



雑誌は利用可能な年代を確認
※雑誌により異なる

提供元の名前をクリックし本文入手先へ遷移

※電子ジャーナル・電子ブックポータルでは、タイトルやISSN/ISBNの他、分野からも探せます（主題カテゴリを選択）。

＜参考＞学習・研究を進めると、多数の文献が収集されるので、すぐに参照できるよう、文献管理ツールを使って普段から文献情報や本文PDFを整理しておくことをお勧めします。

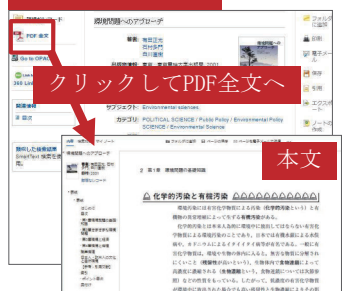
あの論文
どこだっけ…



雑誌の書誌情報



書籍の書誌情報



文献管理ツールは、各データベースから文献情報及び本文PDFを簡単に登録でき、レポートや論文の参考文献リスト作成に役立ちます。詳しくは、図書館HPで公開している、文献管理ツールに関するクイックガイドをご覧ください。



5.2. 新聞記事を探す



メディアの種類、新聞記事データベース

情報を探す
・入手する

図書館の新聞閲覧コーナーには、国内の主要な新聞が置いてあります。新聞は、原紙以外、色々なメディアで提供があり利用目的によって、収録されているメディアを使い分けましょう。Web版新聞記事データベースは、記事を手軽に検索し全文を入手することができます。鹿児島大学では、「朝日新聞クロスサーチ」・「南日本新聞データベース」・「毎索」（毎日新聞等）・「Westlaw Next」（海外紙）を利用することができます。各データベースの収録範囲や利用方法については、各データベースのヘルプや、図書館HPで公開している各クイックガイドを参考にしてください。

目的	メディア（ツール）
最近のニュース	新聞社HP、原紙、記事データベース
過去のニュース	原紙、縮刷版、マイクロフィルム、記事データベース
特化したニュース	地方紙、全国紙、専門紙、一般紙

最新記事は、インターネット上の各新聞社のサイトで一定期間公開されていることもあります。過去の記事検索・閲覧は有料であるケースが多いようです。新聞記事の調査には、鹿児島大学が契約しているデータベースを有効に活用しましょう。

図書館HPへアクセス > メニューから「サービス」を選択



サービス一覧から「新聞記事を探す」を選択すると、新聞記事データベース一覧等の案内ページへ遷移します。利用したいデータベース名をクリックし、ログインしてください。



朝日新聞クロスサーチ（朝日新聞等の全文記事データベース）



「朝日新聞クロスサーチ」・「南日本新聞データベース」・「毎索」は、同時ユーザー数が限定されており、**使用する時はログイン、使用後は必ずログアウト**をする必要があります。ログアウトボタンを押さずにブラウザを閉じると次のユーザーがしばらく使用できませんので、ご注意ください。





南日本新聞データベース (南日本新聞の全文記事データベース)

タブを「IP認証ログイン」に切り替え「ログイン」ボタンをクリック

キーワードや発行日を指定して検索

リスト

見出しをクリックして記事本文へ

記事本文は発行日時時点のものであり、現時点とは異なる場合があります。

記事本文のテキスト保存

記事本文

切抜イメージも一部利用可能。サムネイルをクリックするとPDFで閲覧・保存できます。



毎索 (毎日新聞等の全文記事データベース)

検索種別を選択

キーワードや発行日を指定して検索

リスト

見出しをクリックして記事本文へ



Westlaw Next (海外紙の全文記事データベース)

コンテンツ種別「News」を選択

キーワード等を指定して検索

リスト

記事本文

「News Index」から収録タイトル(約4,000紙)を確認できます。



5.3. 事典・辞書類を活用する



テーマの初期調査や概念の確認等に活用しよう

テーマ調査の初期段階である言葉や事柄について調べたり、概念の確認をしたりと、事典・辞書類は学習にとって不可欠のものです。同義語等を調べるのにも役立ちます。大学における学びで言葉の意味を調べる場合は、一般的な百科事典・国語辞典の類のみでなく、各分野の専門辞典を必ず参照しましょう。

各図書館の参考図書コーナーにある事典・辞書類を活用するほか、以下に紹介するWeb版データベース「Japan Knowledge Lib」で、多数の事典・辞書を一気に調べることもできます。

情報を探す
・ 入手する

図書館HPへアクセス > メニューから「サービス」を選択



サービス一覧から「辞書や辞典を利用する」を選択すると、「Japan Knowledge Lib」ログイン画面へ遷移します。

ログイン

キーワードを指定して検索

リスト

見出しをクリックして記事本文へ

記事本文

ファセットを使って、検索対象の事典・辞書を指定することもできます。

「Japan Knowledge Lib」収録内容

種類	収録タイトル例	種類	収録タイトル例
百科事典	日本大百科全書、Encyclopedia of Japan	英語の辞書	ランダムハウス英和辞典、理化学英和辞典
日本語の辞書	日本国語大辞典、デジタル大辞泉、数え方の辞典	その他	現代用語の基礎知識、会社四季報、デジタル化学辞典

「Japan Knowledge Lib」は、同時ユーザー数が限定されており、使用する時はログイン、使用後は必ずログアウトをする必要があります。





補足1. 検索条件を調節する



調節を何度か繰り返してみましょう

上手に探す
ためのTips

データベースにキーワードを入れて検索してみたものの、何も/ほとんどヒットしなかったり、大量にヒットして途方にくれたり、期待していた検索結果とは異なったり… などと、うまく探し出せないときには、次の方法を参考にしてみましょう。

なお、論理演算やキーワード活用で検索する場合、データベースによって記号やルールが異なります。各データベースに用意されている「利用のてびき」や「ヘルプ」等を確認しましょう。



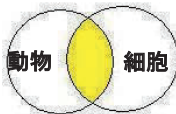
キーワードを工夫する

- ・ **同義語・類義語・関連語** で検索
「日本工業規格」 = 「JIS規格」 など
- ・ 検索結果の中のできた重要そうな言葉で検索
- ・ より広い概念 (**上位語**) 狭い概念 (**下位語**) などの語句にかえて検索
「気象」 「異常気象」



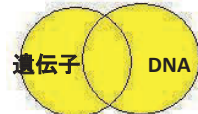
キーワード (2語以上) を組み合わせる (論理演算)

「動物」 AND 「細胞」



「動物」と「細胞」の両方のキーワードがあるものを含む重なり合った部分 (**論理積**)

「遺伝子」 OR 「DNA」



「遺伝子」「DNA」いずれかのキーワードがあるものすべて (**論理和**)

「生物」 NOT 「動物」



「生物」の検索集合から「動物」を除く (**論理差**)



キーワードを活用する

部分一致検索

例) キーワード: educa*

Education, educational, educator
などがヒット

キーワードの一部分とトランケーション記号「*」、「?」などを用いてキーワードの変化も検索

完全一致検索

例) キーワード: /環境/

キーワードと「/」、「#」、「@」などの決められた記号を用いて完全に一致する文字列を検索

<検索のコツ> 空白文字を含む文字列で検索(フレーズ検索)したい

「 (ダブルクォーテーション) 」で文字列を括ります。

例: "liquid crystal" で検索 → 「nematic liquid crystal」、 「liquid crystal polymer」はヒット。「crystal in liquid」、 「liquid or crystal」はヒットしない。



情報を入手・
発信する

補足2. 参考文献の見方・書き方



情報の種類によって記述方法が異なります

参考文献は、学術書や論文の章末や巻末に掲載されている、その著者が参考にした文献のことです。参照文献、引用文献とも呼ばれます。

テーマに関する文献を探している際、ある一つの文献から、その参考文献に掲載されている文献をたどっていくことで、テーマに沿った重点的な文献収集を行うことができます。参考文献リストは、貴重な情報源となります。

また、レポートや論文を作成する際にも、参考文献リストを付ける必要があります。

■ 参考文献リストで示す文献情報の要素

1. 著者に関する書誌要素（著者名、編者名 等）
2. 標題に関する書誌要素（書名、誌名、論文標題 等）
3. 出版・物理的特徴に関する書誌要素（版表示、出版者、出版年、巻・号・ページ、DOI 等）
4. 注記的な書誌要素（媒体表示、入手方法、入手日付 等）

■ 要素の表現の仕方や順序の違い等により、多種多様な記述スタイルが存在します。

例) NLM(MEDLINE)スタイル、ACSスタイル、IEEEスタイル、APAスタイル、MLAスタイル

以下では、「SIST 02」(※)というスタイルで記述例を紹介しています。レポートや論文を書く際に、指導教員から記述スタイルの指定や指示があった場合は、それに従ってください。

※科学技術振興機構（JST）の科学技術情報流通技術基準（SIST）の一つ。詳細→<https://jipsti.jst.go.jp/sist/>
<参考>SIST02準拠の作成テンプレートを利用することができます→<http://inyo.nichigai.co.jp/>



図書の場合の例

（黒太字は必須記述項目、青字は任意記述項目）

Frenkel, D.; Smit, B. Understanding Molecular Simulation: From Algorithms to Applications. 2nd ed., Academic Press, 2002, 664p.

著者名、書名、版表示、出版地、出版者、出版年、総ページ数、（シリーズ名、シリーズ番号）、ISBN.



雑誌論文の場合の例

（黒太字は必須記述項目）

西凜, 石原和弘. 火山地域における震源計算についての提案. 火山, 2003, vol. 48, no. 5, pp. 407-413.

著者名、論文名、誌名、出版年、巻数、号数、はじめのページおわりのページ.



ウェブサイト中の記事の場合の例

（黒太字は必須記述項目、青字は任意記述項目）

中央教育審議会. “教育振興基本計画について－「教育立国」の実現に向けて－（答申）”. 文部科学省. 2008-04-18. http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/08042205.htm, (参照 2008-08-13).

著者名、“ウェブページの題名”. ウェブサイトの名称、更新日付、入手先、（入手日付）.

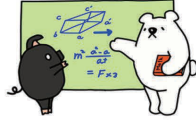
学生による

図書館サポーター

活躍中！

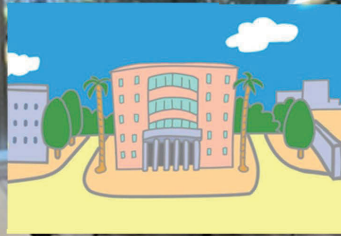


このハンドブックで説明のお手伝い
をしている2匹は、鹿児島大学
附属図書館の公式キャラクター
「ブックマ」と「まなぶた」です。
図書館のあちこちらでみなさんを
待っています♪



まなぶた ブックマ

図書館サポーターとは、
平成27年度に発足した
学生主体のボランティア団体です。
ビブリオバトルや本の福袋等の
イベント企画、オープンキャンパス
のサポート等々、図書館を利用する
みなさんのために大活躍中♪
自分もやってみたい！という方は
中央図書館カウンターへ。



Kagoshima University Library

鹿大生のための図書館・学術情報活用ハンドブック

2026年3月発行

編集・発行：鹿児島大学附属図書館

〒890-0065 鹿児島市郡元1-21-35 Tel: 099-285-7440 Fax: 099-259-3442

E-Mail: joho@lib.kagoshima-u.ac.jp <https://www.lib.kagoshima-u.ac.jp/>

X(旧Twitter): @KUL_kagoshima

Instagram: https://www.instagram.com/kul_kagoshima/

